

別添4 日野町 対象事業内容及び事業費一覧

(1)基本交付額対象事業

対象事業名	事業名・事業内容	事業費 (千円)	判定
1 主体的な住民活動への支援 (1)地域住民が主体となり、地域の振興又は観光振興につながる活動に要する経費	【日野町地域活動支援交付金】 集落や地域などの住民団体等が、自主的に地域活性化やコミュニティー活動など元気なまちづくりに資する活動に要する経費に対して、その費用を助成する。1団体当たりの交付限度額20万円。	1,976	○
2 観光・交流の推進 (1)県内農山漁村と県外の住民の交流を通じ、中山間地域活動化を促進する活動に要する経費	【ひの郷会】 関西地方の日野町出身で構成されている「ひの郷会」を中心とした都市との交流により、日野町を広くPRし、関西方面での販路拡大を推進し、併せて地域活性化を図る。	28	○
3 福祉保健の充実 (4)地域住民の健康増進を図るために必要な経費	【歯科保健対策事業】 保育所や小学校でフッ化物洗口、ブラッシング指導を行うことにより、虫歯のない健康な歯の増進を図る。また、乳幼児の歯科検診とともにフッ素塗布を行い、虫歯ゼロを目指す。薬代等として消耗品費、歯科医師謝礼6回、歯科衛生士謝礼8回を計上。	265	○
5 地域景観の形成 歴史的まちなみ又は地域景観の形成に寄与する、建築物等の補修・改修、調査又は啓発活動に要する経費	【歴史民俗資料館ライトアップ事業】 国登録有形文化財である資料館及び根雨の街並みを一層PRするために建物のライトアップを実施し、それに係る照明を設置する。	346	○
6 農林水産業等の振興 (2)農地の貸借及び農作業の受託を行う認定農業者等に対する助成に要する経費	【担い手への農地集積推進事業】 担い手の規模拡大に対して交付金を交付して、農地の担い手への集積を図る。	618	○
6 農林水産業等の振興 (5)地産地消意識の高揚及び普及定着を図るための活動及び食育に関する取組に要する経費	【そば種子補助事業】 そばの種子補助を行い、生産意欲の向上と地域の生産振興を図るとともに、そのそばを地元の店で提供することにより、安心安全な食生活を広める。	250	○
6 農林水産業等の振興 (5)地産地消意識の高揚及び普及定着を図るための活動及び食育に関する取組に要する経費	【なたね振興補助事業】 なたねの種子補助を行う。 町内にある福祉施設において、なたねを精製して油を生産販売しており、その原料となるなたねを栽培することにより生産意欲の向上を促進し、地域の生産振興を図るとともに、生産・販売・消費を地域で行うことにより、安心安全な食生活を広めていく。	136	○
6 農林水産業等の振興 (5)地産地消意識の高揚及び普及定着を図るための活動及び食育に関する取組に要する経費	【海藻肥料補助金】 中海でとれた海藻肥料代金に補助を行い、海藻肥料を使用した農産物の栽培を振興する。それにより、それらの農産物を地元で消費することにより地産地消を図るとともに循環型農業の推進する。	1,103	○
6 農林水産業等の振興 (5)地産地消意識の高揚及び普及定着を図るための活動及び食育に関する取組に要する経費	【新嘗祭献穀事業】 宮中行事の新嘗祭に献穀(精米1升)をするため、実行委員会に助成を行う。4月播種式、5月田植式、9月抜穂式、10月献納式(皇居)、1月知事感謝状贈呈式、2月献穀種子引渡(目的)。 新嘗祭に参加することにより、地元農業を広くPRし、農業者の意欲向上と地産地消を推進する。	1,000	○
7 人権尊重の社会づくりの推進 (1)人権問題解決のため住民学習を計画又は運営する人権教育推進委員の設置に要する経費	【人権教育推進員設置事業】 基本的人権の尊重とあらゆる人権問題の速やかな解決に資するため、人権教育推進員を設置する。	2,367	○
7 人権尊重の社会づくりの推進 (2)人権問題解決のため住民の自立支援及び福祉の向上を図る相談員隣保館等への設置に要する経費	【生活相談員設置事業】 人権にかかる諸問題に対して適切な指導助言を行うため生活相談員を設置する。	2,335	○
8 地域文化、芸術の振興 (1)民族芸能、伝統芸能等の継承又は地域文化活動の活性化に要する経費	【町民ミュージカル助成事業】 町民ミュージカル実行委員会へ補助を行う。町民ミュージカルは郷土の歴史を題材としたテーマで、異年齢の生徒が同じステージに立ち、目標を達成するという経験を通して、教育面及び郷土意識の醸成に寄与している。	500	○
8 地域文化、芸術の振興 (2)文化財(市町村指定が見込まれるものを含む。)の補修又は活用に要する経費	【泉龍寺収蔵庫防犯設備設置事業】 町指定文化財「因幡二十士遺品」を所蔵する泉龍寺収蔵庫の防犯設備設置について補助を行う。	487	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【黒坂納涼まつり、根雨まつり】 地域の住民が主体となって運営する大規模なイベントに要する経費に対して、その費用を助成する。1団体当たりの交付限度額20万円。	400	○

9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【幼児健診心理相談員派遣事業】 1歳6ヶ月・2・3・5歳児健診時に、心理相談員による育児相談のコーナーを設けて、育児相談を行うことにより、保護者の育児負担の軽減を図る。臨床心理士謝礼を計上。	96	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【がん検診受診率向上事業】 がん検診受診率の向上を図るため、街頭でのキャンペーンを実施し、普及啓発を行う。消耗品費と受診勧奨パンフレット等の印刷製本費を計上。	235	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【インフルエンザ助成事業】 1歳から64歳までのインフルエンザ予防接種費用を助成することにより、インフルエンザ脳症等の重症化を予防し、特に保育所や小中学校での流行を防止する。1歳以上13歳未満は2回分を助成、13歳以上64歳以下は1回分のみ助成。自己負担は1歳以上19歳未満は500円、19歳以上64歳以下は1,000円とする。	2,210	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【人間ドック・脳ドック助成事業】 町民の健康の保持増進、疾病の早期発見早期治療を目的とし助成事業を実施。対象者は人間ドックは60・65・70歳とし、自己負担額は10,000円。脳ドックは40歳から55歳まで5歳きざみとし、自己負担額は5,000円。病院への委託料を計上。	1,315	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【日野高校魅力向上事業】 日野高校一郡内中学一郡内行政一地域が連携することにより、日野高校の存在価値を高め、日野高校の魅力向上を推進するために、コーディネーターを1名雇用し、日野高校、地域、行政、中学校がともに連携する仕組みを構築するための取り組みを行う。	1,161	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【交通安全対策事業】 各地域に交通安全指導員を配置し、交通安全運動期間中の街頭広報はもとより、日頃から町民の交通安全への意識向上に努める。活動に係る費用を計上。	813	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【リサイクル運動支援事業】 小学校のアルミ缶回収活動を支援することにより、環境への意識の高揚を図る。補助金を計上。	12	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【日野町子どもの読書推進キャンペーン事業】 家庭・保育所・子育て支援室・学校・行政と連携しながら子ども達の豊かな心をはぐくむための読書を推進するとともに、環境整備を図る。秋の読書週間に合わせて、読む読むキャンペーンや町読書推進フォーラムを実施し、啓発を図る。謝礼、記念品を計上。	57	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【鶴の池マラソン助成事業】 県立公園鶴の池で、第38回マラソン大会を開催。町内はもとより県内外から参加があり、地域のボランティアなどの支援により、地域交流の場ともなっている。その実行委員会へ補助を行う。	357	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【学校緊急時非常食整備事業】 町内の小中学校で災害等により給食が提供できないことを想定し、非常食を用意し、緊急時に備えるとともに、一定期間経過した非常食を給食に提供することにより防災への意識の高揚を図る。	62	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【長寿者敬老事業】 88歳(米寿)及び100歳の方を表敬訪問し、記念品を贈呈し敬老を祝う。	110	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【家庭の日推進事業】 青少年の健全育成に家庭が果たす役割の大切さを再認識し、「家庭の日」の推進と家族のコミュニケーションを深めるきっかけとなるよう「家庭の日」作品募集を町青少年育成会主催で行っている。表彰に係る副賞の図書券を町から提供する。	49	○
9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【文化センター開館20周年記念事業】 「ダ・カーポ&丸山和範トークコンサート」を開催。ダ・カーポは町制40周年を記念して制定した町民歌「きりりこの町」の歌手としても親しまれており、同歌の作曲・編曲者でもある丸山和範氏も迎え、地元の合唱団とのジョイントも行うことで、地域文化の発展を図る。 また、日野町や文化センターにゆかりのあるさまざまなジャンルの音楽グループや合唱団などが参加するみんなの音楽祭を開催し、文化や芸術に親しむ。	2,096	○

9 市町村の自主的な行政運営 市町村交付金の対象とすることが適当であると市町村が認めた事業に要する経費	【図書館開館20周年記念事業】 町ゆかりの明治の文豪作家小泉八雲の曾孫にあたる、民俗学者であり島根県立大学短期大学部教授の小泉凡氏を迎え、「地域資源として活かす小泉八雲と怪談」と題して記念講演を行う。郷土文化への関心を高めるとともに、地元の実行委員会との共催で、こわいお話しの募集や怪談ナイトを実施し、地域の活性化へ寄与する。また、今までの活動をまとめた冊子の発行や郷土作家の展示を行い、文化振興に努める。	209	○
計		20,593	

(2)調整交付額対象事業
該当なし

【当該年度事業分市町村創生交付金交付額】

(単位:千円)

基本交付額	申請事業費	①	20,593
	対象外事業費	②	0
	算定対象事業費	①-②=③	20,593
	算定対象事業費×1/2(千円未満切捨て)	④	10,296
	基本交付額	⑤	8,548
	交付する基本交付額(④と⑤のいずれか低い額)	⑥	8,548
調整交付額	申請事業費	⑦	0
	対象外事業費	⑧	0
	算定対象事業費	⑦-⑧=⑨	0
	算定対象事業費×1/2(千円未満切捨て)	⑩	0
	交付する調整交付額(⑩を上限として採択状況に応じて配分する額)	⑪	0
計	当該年度事業分市町村創生交付金交付額	⑥+⑪=⑫	8,548

【交付決定額】

(単位:千円)

平成27年度事業交付額	⑫	8,548
平成26年度事業精算額	⑬	△ 297
交付決定額	⑫+⑬	8,251